



まい おはら舞 ニュースレター

京都府議会議員 小原 舞 府議会報告

マイ ウェーブ
My Wave No.12



皆さん、暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。
日頃は、おはら舞の議員活動に対しまして、格別のご厚情とご教示を賜り、心から感謝申し上げます。

4月の京都府議会議員選挙では、多くの皆様より大変大きなお力を賜り、10,836票という得票で2期目の当選をさせていただきました。今後4年間の重責を担うにあたって、初心を忘れず、感謝と謙虚の気持ちをもって令和の新しい時代における地域の発展のために尽くしてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

京都府議会議員 小原舞 拝



女性の皆さまと商店街を練り歩く。



最終日。支援者の皆さまと。



感謝の気持ちでいっぱいです。



多々見良三舞鶴市長が街宣車に乗ってくださいました。



西脇隆俊京都府知事が事務所に激励にお越しくださいました。



小さいのちと共に@舞鶴ふるるファーム



お一人おひとりの声を大切に。



京都府漁連舞鶴市場にて漁業の発展への想いをのせて。

京都府議会6月定例会(6/12~7/4)にて一般質問をいたしました



1. 子育て環境日本一の推進について

- ① 本年10月から幼児教育・保育無償化が実施されるが、まずは施設数の増加や保育・幼児教育人材の確保・育成などハード・ソフト両面による受入体制の整備が必要と考える。幼児教育・保育無償化の施行に向けた課題について、どのように考えているのか。また、その対応方策はどうか。

答弁

保育料の無償化(本年10月から消費税を活用して3歳~5歳児にかかる)による保育需要への影響につきましては、現在、市町村において保護者へのニーズ調査等に基づき、保育の必要見込量とそれに見合った保育所等の整備計画を検討されており、市町村の考えを確認し、京都府としても子ども・子育て支援事業支援計画を年度内に見直すこととしている。また、保育人材の確保に向けては、

- 京都府保育人材マッチング支援センターによる就職フェアの開催や定着支援の充実
- 保育団体と協働で行う「保育の魅力発信キャンペーン」の実施
- 質の高い人材を育成するための「京都式キャリアパス」制度の一層の普及に努めてまいります。

- ② 3歳以上の幼稚園や保育所等に通っていない未就園児が全国に約9.5万人いる中で、貧困や家庭事情が原因で通いたくても通えない子どもたちもいると聞く。子育て家庭の状況を把握し、必要なケアを提供すべきと考えるがどうか。

答弁

今後とも、質の高い幼児教育・保育の提供とともに、必要な方に適切な支援が届けられるよう、市町村との連携をより強化し、子育て環境日本一を目指して取組を進めてまいりたいと考えている。

裏面につづきます ▶▶▶▶